

Amir Tsarfati 氏 中東アップデート 2016年10月18日公開
ISISを攻撃しているのは誰なのか、アメリカ大統領選の行方

みなさん、こんにちは。ようやくローマに到着して、ホテルに落ち着きました。今回は、ここローマの小さなカルバリーチャペルで、預言カンファレンスを行います。私はローマがヨーロッパの闇の中心だと思っているので、今後、ここで毎年カンファレンスを開催できればと思います。

今日は、イラクのモスルで起こっていることについてお話しします。あちらで起こっていることについて、間違った情報が飛び交っているようなので、実際には何が起きているのか、誰がモスルを攻撃して、その理由は何なのか、なぜ今なのかについて、正確に説明します。これは、結構衝撃です。

まず、理解しておきたいのが、モスルはイラク北部の大きな町で、数年前に ISIS がここを占拠しました。そしてここはイラク国内での ISIS の主要都市で、小国家のようなものです。それから前にも言ったように、誰にも彼らに手出しせず、何もせず、深刻に受け止めず、攻撃をしかけなかったのです。それで、スンニ派の民兵である ISIS が、何の問題もなくテロリスト国として、そこにいられたのです。

それが、どこからともなく、アメリカ大統領選挙までわずか 4 週間で切ったときに、突然に、全方向から大きな陸軍による、モスルへの攻撃が始まりました。実際、これは非常に多くの分派や軍隊から形成されています。

- ①アメリカが何十億と言う資金をつぎ込み、武力提供しているシーア派イラク軍。サダム・フセインが所有していたイラク軍は、解体された後、新イラク軍として編成されました。以前少数派だったシーア派は、現在軍の大半を占めています。
- ②アメリカ陸軍。そうです。アメリカ軍はイラクと共に現地入りしています。
- ③それだけでなく、イラン民兵が複数存在しています。基本的に民兵はイラン・テヘランの委託で、「ハシド・(アル) シャービ」(シーア派民兵組織)で知られる人々の集まりです。彼らは非常に過激で、通常は兵士が攻撃した後、彼らが送り込まれて後始末をします。ラマディー、ティクリート、ファルージャで行われたのと同じように、兵士の攻撃後、彼らが入ってきて、邪魔するものはすべて惨殺していきます。
- ④それ以外にも PKK (クルディスタン労働者党) も陸路はるばるやっています。
- ⑤それからトルクメニスタン人民兵もいます。現在モスルで起こっていることは、恐らく 7 ~ 8 の異なる分派がこの都市を乗っ取ろうとしています。そして、興味深いことに、アメリカが事態を理解しないで罫に嵌るのは、これが初めてではないのです。

これは、はるか 1,300 年以上も前からずっと続いているスンニ派とシーア派の対立です。と言うことで、現在モスルで起こっている地上戦、その目的は占領することです。そして、皆が自分の支配下に置くために、少しでも多く乗っ取ろうとしています。しかし、皆が ISIS の追放を狙っていますが、その後どうするのかと言う計画は誰も持っておらず、おかしな状況になっています。無計画の下、140 万人が戦火にさらされて、いずれ捕えられるでしょう。現在クルド人シーア派の軍は約 5 万人、それに対して ISIS のテロリストの数は 6,000 ~10,000 人で、その大半は地元住民です。

これはとても興味深いことで、モスルはこれまでずっと、常にスンニ派の町でした。イラクはモスル以外はスンニ派、シーア派混合していました。現在、アメリカの指揮下で、シーア派がスンニ派の町に対立・攻撃しているのを、スンニ派の世界が目撃しているのです。アメリカが率いる軍隊はほとんどがシーア派、それに明らかにシーア派のイランが援助する民兵から成っています。私たちが今、目の当たりにしているのは、サウジや湾岸諸国、さらにはトルコの人々が非常な不安に陥っているということです。

ISIS のことはひとまず横に置いて、理解しないとイケないのは、人口 100 万人のスンニ派の最重要都市が、まさにシーア派によって陥落されようとしていることです。スンニ派對シーア派の構図において、アメリカはまたしても間違っただ方の味方に付いて、誤った行動にでています。さて、ここで皆さんは疑問に思うことでしょうか。「選挙の 20 数日前に、なぜ？」

大統領就任の初年（2008 年）にイラク戦争の終結と全軍撤退を公約したバラク・オバマ。どうして彼は今、イラク最大の都市を攻撃するため、自国の兵士を現地入りさせているのでしょうか？それは当然、彼自身が、中東での功績を何一つ遺せていないことをわかっているからです。

ドナルド・トランプは、一度ならず何度も「オバマは ISIS と戦っていない」と世界中に真実を伝えています。そして、基本的には、選挙の数日前にオバマが始めようとしていることは世界中に、特にアメリカ人に、自分が ISIS と戦っているということを証明しようとしているということです。私たちが目撃しているのは、アメリカ大統領は世界のあの地域で、とっくの昔に終わっているべきだったこと、少なくとも ISIS とは、ずっと以前から戦っているべきであったのに、突如として、選挙 3 週間前に「今がその時だ」と決行したことです。

様々なことが現在中東で起こっています。トルコもサウジも非常に神経を尖らせています。インド洋でも多くの混乱が起きています。これはまだ公には知られていないことですが、

現在ディエゴ・ガルシア島（チャゴス諸島の一つ）やその他の地域でアメリカ軍が行っている配備については、私はお話しできませんが…。

でも、皆さんにお伝えしたいのは、中東の緊張は新たなレベルに達しているということです。もし、シリアでの戦争が十分でなかったとしたら、今度はイラクでのシーア派とスンニ派の対立が次の目的です。オバマは、何かを証明するため、いかにも自分が何かを行ったかのように人々に思い込ませるために、大統領選までの 3 週間の間に、他にも何かを企んでいるのだらうと思います。中東の多くの人々にとって、ISIS の撲滅は明らかに主要目的ではありません。現在、オバマはここ 2, 3 日、大統領就任期間の 4 年間の中で一番精力的に ISIS を破壊するために動いています。そこで皆さんは疑問に思っていることでしょう。「何の戦略もその後の計画もなく、ただ『攻め入って、攻撃しよう！』としてのの？」この 140 万人の市民が暮らす都市がどうなるのかは、神をご存知です。

ロシアとイランは、アメリカが中東に介入してきたことに相当神経質になっています。アメリカは、自分たちが一切シリアに立ち入ることができないのをわかっていて、そのためにイラクで威嚇し、何かをしているかのように見せかけているのです。これが上手くいくのかは、私にはわかりませんが、以前クルド人が ISIS から町々を解放したのを目撃しています。そこへトルコ人が来て、クルド人を追い出し、それらをまた ISIS がすべて奪還しました。

トルコ対クルド、シーア派對スンニ派、ジハーディスト対世界…これらの対立は、ISIS 対アメリカ、イラク政府、イラン軍の対立よりもずっと大きいのです。アメリカの、イラクでの必死の証明のための行為は、全く賢明なやり方には思えませんが、神だけはこの先どうなっていくのかをご存知です。ロシアはこれらのことに対して、全く快く思っておらず、不安に感じています。

さて、もう一つお伝えしたいのは、二日前だったと思いますが、私は Facebook ライブでアメリカの皆さんに投票するようと呼びかけました。これは選挙権を行使すると同時に、投票して影響を及ぼすことがすべての市民の義務だと信じているからです。投票しないで何かが起こることを期待してはいけません。私たちが理解しなければいけないのは、多くの場合、「私は祈っていたいから、投票に行かない。神は御心の通りに、全てを行うのだから。」という人がいるからです。

これを聞いて思い出すのは、銃を持っているテロリストの前に立っている人のことです。その人にも、銃が手渡されているのに、その人が言うには、

「私は、このテロリストが私を殺すのを、神が止めてくださるようにと祈るのだ。」

神はそのテロリストが、あなたを殺すのを止めることはできるでしょう。でも、実際のと

ころ、神はあなたにそのテロリストを殺すために銃を与えているのです。そうでなければ、テロリストがあなたを殺してしまうでしょう！

つまり、票を投じるということは、武器なのです。それがあなたにとっての影響の及ぼし方で、もしも何とかしたいと思っておられるのなら、与えられた武器＝一票を使いましょう。これは道具なのです。もうすでに諦めてしまっているとしたら、敗北宣言をしてしまっているのだとしたら、もったいないです。皆がどのように考えているのかは、私にはわかりませんが。

この大統領選で、トランプにでも誰にでも、牧師や何か霊的指導者のような見解を持ち備えていることを期待できますか？彼らは政治家ですから、そんな期待はできません。でもこれらの政治家が国を導いているのです。過去 60 年間に、世界の中でも超道徳的な大統領なんて見たことがありません。しかし、彼らが国を導き、彼らの指導、政治が何百万と言う数の人々に影響を与えてきています。そして、人々が投票することによって、影響を与える人が少なければ少ないほど、間違ったことが起こる可能性が高くなります。神は人々の祈りを聞き、介入されようと思っておられることを、私は信じます。しかし同時に、私たちが神に従って行動を起こすのなら、より聖書にかなっているほうに票を投じるべきです。

ドナルド・トランプは聖書にかなっている人物ではありません。

しかし、人を見るのではなく、その立ち位置を見るのです。

国全体に影響を及ぼす最高裁を見て、アメリカのイスラエルに対する立場、妊娠中絶について、家族の在り方について、これらが聖書にかなった視点に立っているかを見るのです。「神がすべてをコントロールしておられるから、私は神に投票するんだ！」なんてことは言えないのです。

神は私たちに考えるための脳みそ、指導者、一票を与えてくださっているのです。だから、数年ごとに私たちは脳みそを使い、票を使って、正しいと思われる指導者に投票するのです。どうして、私たちはこれほどまでに自己弁護をし、投票しない言い訳を探しているのでしょうか？

バラク・オバマが 8 年も権力を握っていられた理由は、まさにこれだと私は思っています。つまり、クリスチャンが投票に行かなかったからです。私がいつも言っていることですが、もし私たちが真実を伝えなければ、人々の血の責任は私たちに問われます。もし私たちが真実を伝え、その真実に対して何か行動を起こしたなら、血の責任は私たちには問われません（エゼキエル 33 章）しかし、私たちが何も行動を起こさずに、どうして夜ぐっすり眠れるのでしょうか？また、「自分は悪を阻止するために出来る限りのことをした」なんて

考えて生きていけるでしょうか？

これはいつも言っていることですが、アメリカでは大統領に何かが起これば、自動的に副大統領が大統領に就任します。私にもし投票権があれば、仮にトランプに投票しなくても、少なくとも副大統領候補のマイク・ペンスに票を投じます。彼は真の神の人、主を愛し、祈る人です。それが最低でもあなたがすべきことです。神が、大統領に何かが起こることを許されたとしたら、次にこの国を導く副大統領は誰なのかを考えなくてはなりません。以上がアメリカの皆さんへ送る、「私が投票すべきだと思う理由」です。

皆さんに同時に理解しておいてほしいことは、中東が今まさに煮えたぎっていることです。アメリカは聖書預言では大きな役割は果たさないかもしれませんが。それでもアメリカは 3 億以上の人々を統治しています。ですから、エゼキエル 38～39 章を見て、アメリカが出て来ないから投票する必要はない、というのは何と馬鹿げた言い訳でしょうか！世界の 95% はエゼキエル 38～39 には登場しません。だから投票しなくてもいいという理由はなく、正しい一票を投じるべきです。

今こそ、強くあるべきです。今まで以上に強く戦うべき時に、敗北の白旗を振らないでください。重々しい、敗北の霊、諦めの霊、自己弁護の霊が共和党だけでなく、アメリカのクリスチャン社会全体に広がっています。でも立ち上がって投票に行ってください。

確かに中東はどんどんおかしくなり、事態は沸点へと達しています。しかし、前にも言いましたが、ロシアがアメリカを攻撃するとは思いません。私の見解では、現在ロシアが行っていることの全ては、中東においてアメリカの介入なしに自由にふるまうためだからです。そして、ロシアはすでにその環境を手中にし、達成してしまいました。現在私たちは曇りガラス越しに、ロシアが中東で誰からも邪魔されずに活動しているところを見ています。

しかし、アメリカはここからの 20 数日間、大統領選において最も血生臭い日々を送ることになるでしょう。これは戦いです。そしてあなたは一票という武器で戦わなくてはなりません。それによって、撃ち、可能ならば悪を殺すのです。

恐らく、こういうことを言うことで私に人気はないでしょう。しかし、私は自分の人気なんてどうでもいいことです。もしかしたら、ミニストリーを支援してくださっている方や、オンラインで見に来てくださっている方が離れていくかもしれません。それでもかまわないのです。たった一人しかフォローしてくれなくても、100 万人がフォローしようとして、私は全くかまわないのです。

私は真実を語ります。それはとてもシンプルです。私たちクリスチャンは、正しいことを行うべきです。それだけです。皆さんがこのメッセージを受け止め、できるだけ多くの人にシェアして下さるようにお祈りしています。

アメリカのクリスチャン社会は今、目覚める時です！

皆さんの大統領は、最後の土壇場で、自分が何か重要な位置にいて、仕事をしていると必死になってアピールしようとしています。私から見れば、これらの行動から、民主党がどれだけ圧迫されているかが窺えます。どうにかして、自分が何かをした、伝説を残したと見せようとしているからです。なぜなら、民主党のしてきたことは、国内外でも悪いことしかなかったからです。そして、世間がそれに気づいていることは彼ら自身よくわかっています。アメリカ史上最悪の 8 年間でした。国民だけでなく、アメリカの友好国、味方、中東はじめ世界中同様の見解です。彼らのモスルでのあがきという事実が、ドナルド・トランプを抑えることが容易ではないことを表しています。

民主党はドナルド・トランプがどれほど強いかを知っています。トランプの候補者演説では、毎回数万人が集まります。ヒラリーの時はわずか数百人で、ほとんどが関係者のみです。皆さんご存知の通り、メディアはヒラリー側で、次から次へとでっち上げを流します。しかし、ウィキリークスの登場で、次から次へと真実が暴露されます。彼らは自分の意見を言ったりせず、ただ E-mail を見せているだけで、それはヒラリー側の人間が書いたものです。その E-mail は、ヒラリーがどれだけ黒人社会…というよりも全ての人を見下しているかということを示しています。ヒラリーたちは、オーランドのテロリスト（6/12 に起きたテロ）さえ、白人であることを願っていました。そうすれば、イスラムは平和な宗教だと言えるからです。

私は、アメリカ人がアメリカ&中東で起きていることについて、目を覚まして投票することを祈っています。味方国として、心配し、祈り、真実を伝えます。

多くの人々がヒラリー・クリントンがホワイトハウス入りしないように祈っています。それは単に、過去 8 年間と同じことが繰り返されるからです。この 8 年間が失敗に終わったのに、彼女の次の 8 年間がうまくいくわけがありません。バラク・オバマが黒人であったことだけでは十分でなかったように、ヒラリー・クリントンが女性であると言うだけでは十分ではないのです。そのような基準で投票してはいけません。彼らの立ち位置を見て投票するのです。それには、彼らの公約を見れば良いのです。

もし、聖書を信じ、家族、胎児の人権、アメリカ人の権利、人々がただ平和に暮らせる権利を尊重し、オバマケアによって殺されたアメリカ経済を投票者として復興させることができると思えば、一票を投じることで防衛することができるのです。多くのビジネスがオバマケアの経費が払えず、閉鎖に追い込まれたのを目の当たりにしました。皆さんがすべきことは、もう、お分かりですね。塵を払って、投票は聖書的ではないという考え方を振り払って、ただしっかりと正しいことを行ってください。皆さんはそれができる、信じています。そして、その力を宿していると信じます。神は私たちに権利を与えてくださっているのです。それを使わない手はありません。

私の国では「それはただの権利ではなく、義務だ」と言われます。同じように、軍事的に何かが起こったとしても文句は言えません。これは義務ですから、ただ仕えるのです。自身の政界に文句は言わないのです。すべきことをしたのだから。しかし、投票しなかったら、何が起こったとしてもあなたがたには何もできません。悪がはびこって、あなたの国に大きなダメージを与えたとしても。それはもしかしたら、あなたが投票しなかったから、あなたが聖人ぶったからかもしれません。悪魔のやりたいようにさせてしまったのかもしれない。しっかりしてください。そんなのは馬鹿げています。だから、正しいことを行いましょう。

また2, 3日中にシリアで起こっていることについて、アップデートします。現在はシリアではなく、イラクに注目が移っています。だから最初に「誰が、何のために、誰を攻撃していて、なぜ今なのか？」と言ったのです。シリアでも今多くのことが起こっていて、現在、あの地域では3カ所で大きなシーア派対スンニ派の対立が起こっています。アレppo、ダマスカス、そしてモスルです。

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジャーナル Amir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル4:7

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO